

市議会 あんな話

話

〜第20話〜

「市会（市議会）が市長を決定」

大正15年の4月に市制が大幅に改正され、市会の権限が革新的に強化されました。これまで市長専任についての市会の権限は「内務大臣の任命に基づいて市長候補3人を推薦して裁可を仰ぐ」というものでしたが、改正の結果、「市長専任の決定権はすべて市会にある」とこととなりました。

市長選考に当たって、市会は「市長選考委員会」を発定させました。同委員たちは5回の会合の後、市長候補として東京在住の海軍予備役少将榊山可也に白羽の矢を立て、さっそく説得交渉のため、当時の議長を含む3人の議員が東京に向かいました。交渉の際、議長は市長就任を要請するとともに「市は財政難の折、市長年俸は6千円、市長交際費は年

額1500円で」と頭を下げたそうです。その数日後に内諾の返事を受け、至急電報で鹿児島に知らせました。

正式な市長選挙市会は内諾の返事を受けた11日後に開かれ、満場一致で第9代市長に榊山可也を選任しました。

11月27日は市長選挙が予定されています。あなたの大切な1票を市政に反映させましょう。



▶ 第9代市長 榊山可也

ひまやまかなり